

下川町社会福祉協議会 『調査屋マオさんの恋文』上映会



9月21日は、世界アルツハイマーデーです。

1944年に国際アルツハイマー病協会(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しました。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症への正しい理解が進むことを目的にさまざまな啓発活動を行っています。

他人事ではない、遠くて近い私たちの将来の姿。映画を通じて、自分の大切な人、身近な人、自分自身におきかえて、「認知症」について皆で一緒に理解を深めてみませんか？

無料上映

日 時：令和6年9月21日(土)

時 間：開場 13:00 昼の部 13:30～ (上映時間78分)

夜の部 18:00～ (上映時間78分)

会 場：下川町総合福祉センター「ハピネス」大広間

映画上映後に、30分ほど「認知症って？」 「予防はできるの？」など、認知症についてのお話会があります。映画と併せて、ぜひご参加ください。

- ・事前のお申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。
- ・お子様連れでご参加いただけます。上映中は周りの方への配慮をお願いします。

マオさんは何でも調査する記録する そうして生きてきた
でも、妻との余生はそう上手くいかなかった
企業戦士として戦後を駆け抜けたマオさんと、
その妻の日常を温かくユーモアを交えて描く
“ほのぼのドキュメンタリー映画”が誕生した



調査屋マオさんは？

終戦後、マオさん（幼少期）は、命からがら金山から新潟へ帰郷。大学時代は学園闘争に明け暮れた。大学卒業後、当時の日本には数少なかった市場調査の会社を起業。大阪から東京へと進出し、数々の大手メーカーから市場調査の委託を受け、調査・企画・計画推進の最前線に身を置いていた。その調査方法は、精通者に質問して教えを乞うという同業者がやっていたなかった独自のアンケート方法であったという。

仕事に明け暮れる日々・気がつくと、

寸前だった。
家庭は崩壊
で我に返った
族の絆を取り戻す。



佐藤 真生さん
昭和14年 朝鮮生まれ
新潟育ち 大阪在住

妻の變化
妻の縫子さんと余生を過ごしていたマオさんだったが、かつて料理教室を開いて縫子さんが、料理をしなくなつた。それは認知症のはじまりだった。マオさんは特別養護老人ホームに入居している妻の元に、毎日欠かさず通い続け、日々変化する妻の言動を記録し続けていた。



佐藤 縫子さん
昭和5年 京都生まれ

地元・関西での先行上映が大好評を博し、感動と共感の輪が広がる。
東京ドキュメンタリー映画祭2019グランプリを受賞した本作は、高度成長期を生きた主人公とその妻という1組の夫婦の人生と、余生を描き、大きな共感を得た。

記録がね、とっても優しいんですね。メモが優しくて普段気にも留めないような夫婦の会話、奥様のお話ってのをメモされるなんかそれがすごい素敵な夫婦の在り方だし素敵な生き方だなあっていう風に思いました。（40代女性）

開始2秒で泣きました。
はじめのワンシーンにこの夫婦のすべてが詰まっているなあと。（30代 介護福祉士男性）

東京ドキュメンタリー
映画祭2019
グランプリ受賞！

監督は大阪を基盤に、地元に根差しながら、映画とテレビ、両輪で制作を続ける今井いおり。今回が本格的な劇場公開作となる。

夫婦とは何なのか。

認知症とは何なのか。そして人生とは。その答えを探し続け、綴られる“ほのぼのドキュメンタリー”。

より詳しい情報は
こちら！

最新情報はこちら！
@iorimai



公式サイト



ツイッター

映画の合間の時間で脳をリフレッシュ！ シナプソロジー体験会

上映会の間の時間で、シナプソロジー体験会を開催します！
シナプソロジーは、普段慣れない動きで脳を混乱させ、さらに刺激を与えることで脳の機能を高める楽しいプログラムです！

日時：令和6年9月21日(土)
17:00～17:30

会場：下川町総合福祉センター「ハピネス和室」



シナプソロジーだけの参加OK！

認知症予防に！集中力向上、仕事効率アップ！子どもの脳と運動神経系の発達に！
子どもから大人まで、すべての年代が楽しめます！ぜひご参加ください！！！